



最高のハグ!

ローリ・フート
(ほんとうにあったお話をもとに書かれました)



エリーはハグが大好きでした。お父さんからのハグ。おばあちゃんやおじいちゃんからのハグ。お母さんからのハグ。ハグをすると、温かい気持ちになります。安心します。幸せを感じます。

だから、エリーは教会にいる間、お母さんをハグしました。お母さんのひざの上ですわるのが大好きです。お母さんはいつもエリーをギュッとだきしめてくれました。

聖餐会が終わりました。初等協会の時間です。エリーは初等協会が大好きでした。

エリーはもうお姉さんです。3才です。自分の聖典も持っています。

でも今日は、お母さんをずっとハグしてたいと思いました。

お母さんはエリーをだいて廊下を歩いて行きました。初等協会の教室に入ると、お母さんはエリーを椅子にすわらせました。

「お母さんと一緒に行っちゃだめ?」とエリーは言いました。

「だめよ」とお母さんが言いました。やさしい声でした。「あなたは自分のクラスに出ないとだめよ」とお母さんは言いました。「わたしも自分のクラスに出ないといけないのよ。」

お母さんはエリーのほほにキスしました。それから、ドアから出て行きました。

エリーはなみだがほほを伝って落ちるのを感じました。

お母さんがだきしめてくれるときのことを考えました。お母さんはいつも、モルモン書を読むときにだっこしてくれました。いつも家族で読んでいます。でも、時々エリーとお母さんだけで読むときもあります。

エリーはモルモン書を手に取りました。中には、イエス様の絵がありました。

エリーはモルモン書をとじてだきしめました。イエス様をハグしているような感じがしました。



温かい気持ちになりました。安心しました。幸せを感じました。最高のハグでした! ●

筆者はアメリカ合衆国ユタ州に住んでいます。

エリーが悲しかったときに、エリーを元気にしてくれたのは何ですか。

イラスト/エリース・ブロン